

WG 活動報告

1:急性骨髄性白血病(AML)【小児】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 工藤 寿子	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
多賀 崇	滋賀医科大学附属病院	小児科
富澤 大輔	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科
岡本 康裕	鹿児島大学病院	小児診療センター 小児科
田淵 健	がん・感染症センター都立駒込病院	小児科
石田 宏之	パナソニック健康保険組合・松下記念病院	小児科
坂口 大俊	名古屋大学医学部附属病院	小児科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍科
清水 崇史	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科

② 2011 年末時点で承認された研究、及び業績一覧

「非寛解期小児 AML における移植成績」 PI:岡本 康裕
学会発表:岡本康裕他 小児急性骨髄性白血病の非寛解期の造血細胞移植術の成績と予後因子の検討 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (2012 年 2 月 24 日-25 日) 大阪国際会議場
論文業績:執筆中
「ダウン症候群に合併した急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績」 PI:村松 秀城
学会発表:村松秀城他 第 53 回日本小児血液・がん学会学術集会 (2011 年 11 月 25 日-11 月 27 日) 前橋ベイシア文化ホール
論文業績:投稿中
「小児 AML に対する自家移植の解析」 PI:坂口 大俊
学会発表:坂口大俊他 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (2012 年 2 月 24 日-2 月 25 日) 大阪国際会議場
論文業績:執筆中
「小児・思春期 AML 第一, 第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響」 PI:石田 宏之
学会発表:石田 宏之他 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (2012 年 2 月 24 日-2 月 25 日) 大阪国際会議場
論文業績:執筆中
「初回寛解期小児急性骨髄性白血病に対する自家骨髄移植を含めた造血幹細胞移植の意義を検証する臨床決断分析」 PI:長谷川 大一郎
学会発表・論文業績:準備中

③ 会議開催記録(2011年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2011/1/29 18:00-21:00	東京医科歯科大学医学 部附属病院 医科新棟(A棟)1階 第 2会議室	TRUMP のデータ操作について説明(田淵先生) 解析対象年齢について:小児 AML WG 対象年齢は診断時18歳未満として 解析希望→成人 AML と調整 各計画概要書について検討し、各担当で再提出の準備をする
2011/7/3 12:00-13:00	名古屋第一赤十字病院 会議室5	一元管理委員会(7/10 開催予定)について(足立先生) 研究課題の進捗状況について検討し、現在配布のデータにて解析を進める こととした 統計解析ソフトの配布:小児 AML WG からは多賀先生、富澤先生、岡本先生 申請

④ WG の今後の活動方針・抱負など

- 1)「小児 AML における第 2 寛解期再移植例の成績と再移植の意義」や「初回寛解期小児急性骨髄性白血病に対する自家骨髄移植を含めた造血幹細胞移植の意義を検証する臨床決断分析」の研究課題について、引き続き解析を進める。既に学会発表の予定や論文化に向けて準備中の研究課題については、各担当が中心となって共著者とともに議論を深め、論文化を目指す。
- 2) 特殊な染色体異常を持つサブグループや RIC 前処置の移植例など、次年度に向けて新たな研究課題を募集する。
- 3) 日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG)や他の WG 等の共同研究も検討し、小児 AML における化学療法の治療成績とその中における移植の位置づけや晩期障害も考慮したがん経験者の QOL にも目を向け、よりよい移植医療の構築に貢献したいと考える。